歐米

# 大使全書

134
1
十類大使
一冊
五函
架

国立公文書館
分類
排架番号
2 A
33-5
(単) 246

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

# 遣使全書

第一

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第一節

枢密院
記録

權利ヲ存シテ相互ニ凌辱侵犯スル事ナク共ニ比例互格ヲ以テ禮際ノ殷勤ヲ通シ貿易ノ利益ヲ交ユ此レ列國條約アル所以ニシテ而シテ國ト國ト固ヨリ對等ノ權利ヲ有スルヿ當然ナレハ其條約モ亦對等ノ權利ヲ存スヘキハ言ヲ待サル事ナリ

故ニ地球上ニ国シテ獨立不羈ノ威柄ヲ備ヘ列

国ト相聯并比肩シテ昂低平均ノ権力ヲ誤ラス能ク交際ノ誼ヲ保全シ貿易ノ利ヲ齊一ニスルモノ列國公法アツテ能ク強弱ノ勢ヲ制厭シ衆寡ノ力ヲ抑裁シ天利人道ノ公義ヲ補弼スルニ由レリ是以テ国ト國ト對等ノ権利ヲ存スルハ乃チ列國公法ノ存スルニ此レ由ルト云ヘシ今其國ノ人民其國ヲ愛スルハ亦自然ノ止ムヘカラサル処ナリ既ニ其國ヲ愛スルノ誠アル其國事ヲ憂慮セサルヘカラス憂慮既ニ此ニ及フ苟モ之ヲ実務上ニ徴シテ我國ニ存スル権利ノ何如ヲ審察セサルヘカラス既ニ之ヲ審察スルニ於テ果メ其権利我ニ存ヲテ失ハサルカ或ハ之ヲ他ニ失シテ存セサルカ能ク之ヲ認メ得ヘシ之ヲ認メテ我國既ニ對等ノ権利ヲ失ヒ他ニ凌辱侵犯セラレ比例互格ノ道理ヲ得サレハ勉励奮發シテ之ヲ回復シ其凌辱ヲ雪キ侵犯セラ

レサル道ヲ講求スル事其國民ニ務ムヘキ職
任ニヲ其國民タルノ道理ヲ盈ス事ト云ヘシ而
シテ其凌辱侵犯ヲ受ケサル道ヲ講求スルヲ
列國公法ニ準シテ其條約ノ正理ニ適スルヤ否
ヤヲ考索セサルヘカラス
夫レ我國海外各邦ト条約ヲ結ヒ始メ國内ノ形
勢如何ソヤ積世鎖國ノ習倍固結メ開港ノ事ヲ
拒ムモノ滔々皆是ナリ攘夷ノ論ヲ発スルモノ
比々皆然リ此レ旧政府擅權ノ私断ヲ以テ此ノ全國
存亡ニ関係スル一大事件ヲ明白正大ナル輿論ト才
智勇決ナル処置トヲ以テ其変件ヲ局セス其目的
一時ヲ糊塗シテ因循歳月ヲ経過スルノ方略ニ出ツ其事
情止ヲ得サルノ勢ト雖モ到底官吏ノ懶惰ト姑息
トニ由テ交際上其當ヲ得サル事影多ナルノミナラス
貿易上モ亦當然ノ理ヲ盈ス能ハサルモノ亦少ナカラ
ス而シテ其間我国内ノ多事ニ由リ強弱ノ勢ニ乗

セラレ彼我権利ノ際限紛乱シテ或ハ主客地ヲ換ル事アルニ至リ益至當ノ則ヲ失ヒ窮極如何ヲ知サルニ至ラントセシニヨリ政体変革ノ始ヨリ既ニ失ヒシ権利ヲ回復シ凌辱侵犯セラルヽ事無ク比例互格ノ道ヲ盈サント欲スト雖モ従前ノ條約未タ改マラス旧習ノ弊害未タ除カス各国政府及ヒ各国在留公使モ猶東洋一種ノ国体政倍ト認メテ別派ノ処置慣手ノ談判等ヲナシ

我国律ノ推及スヘキ事モ之ヲ彼ニ推及スル能ハス我権利ニ帰スヘキ支モ之ヲ我ニ帰スル能ハス我規則ニ従ハシムヘキ支モ之ヲ彼ニ従ハシムル能ハス我税法ニ依ラシムヘキ支モ之ヲ彼ニ依ラシムル能ハス我カ自在ニ処置スヘキ條理アルモ之ヲ彼ニ商議スヘキ支ニ至リ其他凡リ中外相関係スル事ヽ件ヽ彼是對等東西比例ノ通誼ヲ竭ス能ハス甚レキハ公使ノ喜怒ニ

由テ公然タル談判モ困難ヲ受ルニ至ル抑對等
国ノ政府ハ在留公使ノ不可ナルモノアレハ公
法ニ拠テ是ヲ其本国政府ニ逐ヒ還ス程ノ権ヲ
有スルナルニ其事体如此ノ凌辱侵犯ヲ受ルニ
至テハ毫モ對等並立ノ国権ヲ存スト云ヘカラ
ス比例互格ノ交際ヲナスト云ヘカラス故ニ痛
ク其然ル所以ヲ反顧シ分裂セシ国体ヲ一ニシ
渙散セシ国権ヲ復シ制度法律駁雜ナル弊ヲ改
メ專ラ專擅拘束ノ餘習ヲ除キ寛緩簡易ノ政治
ニ帰セシメ勉テ民権ヲ復スル事ニ従事シ漸ク
政令一途ノ法律同轍ニ至リ正ニ列國ト并肩ス
ルノ基礎ヲ立ントス宜ク従前ノ條約ヲ改正シ
獨立不羈ノ体裁ヲ定ムヘシ従前ノ条約ヲ改正
セントセハ列國公法ニ據ラサルヘカラス列国
公法ニ據ル我國律民律貿易律刑法律統法等公
法ト相反スルモノ之ヲ変革改正セサルヘカラ

ス之ヲ変革改正スルニ其方法処置ヲ考案セサル可ラス之ヲ考案スルニ之ヲ実際ニ施行スル或ハ一年ヲ期シ乃至二三年ヲ期スヘキ者アリテ一朝一夕ニ其事ヲ了スヘキニ非スト考ヘサルヲ得ス而メ條約改正ノ期限来申年五月中即チ西暦千八百七十二年第七月一日ヨリ其議ヲ始ムヘキ明文アリ我政府此際ニ當テ此事アル頗ル盛業ヲ興スヘキ一大機會ヲ得タルモノト

蚤モ現場ノ形勢ニ由リ其事ヲ督促サレ順序及時限猶豫ナク切迫ニ及フトキハ亦困難ヲ受クルノ一大機會ニ當レリト云ヘシ如何トナレハ各国公使ニヲ此ノ改正ノ議ヲ考案スルモノ各自其国ノ利益ヲ綱羅セントト目的シ我国ノ政倍公法ニ當サルヲ以テ却テ自恣ノ所志ヲ逞スル為メ正大公明ノ理ニ托シ制度法律教宗ヨリ百般ノ諸規則普通ノ公義ニ反セルヲ責メ定期ノ時

限ヨリ直ニ普通ノ公法ヲ施行フヘシト請求ス
ヘシ然ルニ事情急速行ヒ難キヲ以テ之ヲ拒辭
スルヤハ必スシ之ニ換ルノ請求ヲナシ終ニ威力
ノ談判ニ渉リ其弊害ヲ招クモ量ルヘカラス故
ニ姑息ノ改正ハ益〻国ノ権利ヲ失フ基トナル
事未来ニ考ヘテ判然タリ此レ改正ノ機會困難
ヲ受ルノ憂アリトスル所以ナリ故ニ此困難ヲ
受クヘキ機會ヲ轉シテ盛業ヲ起スヘキ機會ト
スルハ樞機ノ一轉間ニアリテ其関捩特ニ全權
ノ使節ヲ各国ヘ差遣シ一ハ我政体更新ニ由テ
更ニ和親ヲ篤スル為メ聘問ノ禮ヲ修シ一ハ條
約改正ニヨリ我政府ノ目的ト期望スル處トヲ
各国政府ニ報告商議スルニアリ此ノ報告ト商
議ハ彼ヨリ論セントスル事件ヲ我ヨリ先發シ
彼ヨリ求ル処ヲ我ヨリ彼ニ求ル所以ナレハ議
論モ伸ル處有ニ必我論說ヲ至當ナル事トシ之

ニ同意シ相當ノ目的ト考案トヲ與フヘシ其目的ト考案ヲ採リ商量合議セハ其事ヲ実地ニ施行スル時限ヲ大凡三年ヲ目的トス延ルノ談判ヲ整ヘラルモ亦至難ノ事ニアラサルヘシ

此ノ報告ト商議ハ列國公法ニ據ルヘキ改革ノ旨向ヲ報告シ且之ヲ商議シ実地ニ之ヲ我國ニ施行スルヲ要義トスルニ由リ其実効ヲ驗知スル為メ欧亜諸州開化最盛ノ國体諸法律諸規則等実務ニ處シテ方法ヲ探リ之ヲ我国民ニ施設スル方略ヲ

目的スル亦緊要ノ事務トス故ニ全権ノ使節ハ全権理事ノ官員何人ヲ附從シ之ニ書記官通弁官ヲ附属セシメ右全権理事官員ハ之ヲ各課ニ分テ各其主任ノ事務ヲ擔當スヘシ乃チ

第一課制度法律ノ理論ト其実際ニ行ルヽ

處ト研究シ外国事務局議事院裁判處會

計局等ノ体裁ト現ニ其事務ヲ行フ景況ト
ヲ親見シ之ヲ我国ニ採用シテ施設スヘキ
目的ヲ立ヘシ
第二課理財會計ニ関係スル法則租税法国
債紙幣官民為替火災海上盗難受合等ヨリ
貿易工作汽車電線郵便ノ諸會社金銀鑄造
所諸工作場等方法規則ヲ研究シ及ヒ其体
裁ト現ニ行ハルヽ景況トヲ親見シ之ヲ我
国ニ採用シテ施行スヘキ目的ヲ立ツヘシ
第三課各国教育ノ諸規則乃チ国民教育ノ
方法官民ノ學校取建方費用集合ノ法諸學
科ノ順序規則及等級ヲ與フル免状ノ式等
ヲ研究シ官民學校貿易學校諸藝術學校病
院育幼院等ノ体裁及現ニ行ハルヽ景況ト
ヲ親見シ之ヲ我国ニ採用シテ施設スヘキ
方法ヲ目的スヘシ

全権ノ使節及全権理事ノ官員ハ各主任ノ外我国ノ有益トナルヘキ事ハ凡テ之ヲ研究熟覧スヘキハ勿論ナレハ海陸軍ノ法律及給料ノ多寡之ヲ指揮スル方法ヲ研究シ各国有名ノ港津ニ至リ海関ノ実況軍器庫海軍局造船所兵卒屯所城堡海陸軍学校製鐵所等ヲ親見シ且教習ノ所由ハ最モ緊要ノ監察ナリト注意スヘシ而シテ附属ノ書記官ハ其研究スル所ト親見スル所トヲ精細ニ記録シ之ヲ採用シテ施設スルニ易カラシムルヲ要トスヘシ

右全権使節ヲ各国ヘ差遣スル大略ナリ其委任ノ章程及ヒ各国ヘノ公書全権理事官ノ職務章程各官員等級職権ノ際限等ハ其一行ニ係ル官員能ク其便宜ヲ量リ之ヲ考定シテ決裁ヲ乞ヒ可ナルヘシ

其使節一行ノ人員ハ別帯ニ附ス

欽差全權使節一行人員

欽差全權使節　一員

同　二等使節　一員

一等書記官　一員

二等書記官　二員

二等書記官ハ會計ヲ專任スヘシ

一等通辯官　一員

二等通辯官　一員

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

○

全権理事官　六員

一等書記官　三員

二等書記官　三員

此ノ書記官中通弁ヲ能スルモノ三人ヲ要スヘシ

通辨官　三員

此外洋學生徒ノ通弁スル者アラハ四五人ヲ附從セシムルモ亦可ナリ

此ノ人員ノ大畧ナリ而シテ使節ニ附從スル一等書記官ハ全権理事官ト同等ナルヘシ二等書記官ハ理事官一等書記官ヨリ上席タルヘシ

使節附從ノ通弁官ハ一等ハ二等書記官ト同等二等ハ理事官一等書記官ト同等ナルヲ要ス

第二號

我政府ニ於テ定約ノ年限ニ由リ來申年五月中
即西暦千八百七十二年第七月一日ヨリ条約及
税則ヲ改正スルノ議ニ及ントスルニ由リ爰ニ
其改正スルノ目的ト期望スル旨趣トヲ明白ニ
シ且精細ナル陳述ヲナシ其藁案亦モ修飾無ク
備ニシテヲ各和親ノ列国ニ報告シ允當ノ考案ニ
ヨリ公平ノ照會ヲナシ各政府ノ信從ヲ得テ其

事業ヲ以目的ト期望スル處ニ違ハス能ク成功ヲ奏スル事アルニ至ラシムルハ我政府及ヒ人民ニ関係スル処最モ重大ニシテ且緊要ナル事トス

各政府ニ於テ其目的ト期望スル処トヲ信シ且之ヲ公平ノ条理ト認テ其事業ヲ賛成スル有ルニ至テハ和親ノ誼益厚ク貿易ノ利弥洪ク我政府及ヒ人民ノ獨リ幸ヲ享ルノミナラス各国相互ニ往来交通スル人民モ亦其益ヲ得ル基礎ヒナルヘキ所以ナレハ各政府ニ於テ必ス我政府ノ説ヲ信聴シ更ニ遠慮ヲ其間ニ容ル事ナキハ今ヨリコレヲ豫期セリ

凡事物上ノ実理ヲ推究スルニ軽重比較ノ力平均ヲ得サレハ権衡其準ヲ得ヘカラス苟モ其平準ヲ得サレハ昂低偏傾シテ権衡其則ヲ失ヲ今國ト國トノ交際人ト人トノ和親對等并立其當

ヲ得サレハ猶權衡ノ平直ヲ失フカ如シ交際和
親豈能ク平均ノ道ヲ得ンヤ今我政府平均ノ道
ヲ得テ交際和親ノ誼ヲ厚クシ永續保全ナラシ
メントスル勉テ平均ナラシムルノ変革改正ヲ
為サヽル可ラス既ニ此ノ変革改正ヲナサント
スル其原由ヲ推究シ其平均ヲ得サルノ道理ヲ
反顧セサル可ラス
今之ヲ反顧スルニ東洋諸国西洋列国各其国体
政俗ヲ異ニスルハ更ニ贅説ヲ俟ス此レ其国民
開化ノ遅速ニ関係ストイヘ𪜈久憤ノ習俗襲
シテ永ク一種ノ政俗ヲナシ列国公法モ之ヲ規
準スル能ハス我
帝國日本政府各国ト条約ヲ結ヒシ始メ国内ノ
人心開港ノ事ヲ好マサルニ由リ各種ノ難事ヲ
生シ列国公法ニ從フ能ハサルヲ以テ各国ノ交
誼ヲ結ヒ和親ノ誼貿易ノ利ヲ通スルモノ一般

ノ公義ヲ遂ケ普通ノ公権ヲ益ス能ハサルヨリ
自ラ別派ヲ設置ヲ設ケサルヲ得サルノ勢ニ至
リ彼此一致ノ通義ヲ失ヒ交際貿易上ノ権利終
ニ平均ヲ得サルノ憂ヲ生セリ
既ニ反顧シテ平均ヲ得サルノ理ヲ推究スレハ
我国体政俗ノ異ナルヨリ列国公法ヲ以テ他邦
ヲ待シ普通ノ公義ト公権トヲ以テ他民ヲ処ス
ル能ハサルヨリ如此キ不平均ヲ生セシ所以ニ

シテ之ヲ正理ニ照シテ不當ノ事ト認ルトキハ勉
強シテ平均ナラシムルノ方畧ヲ考究シ其國体
政俗ヲ変革政正セサルヘカラス今我帝国日本
天皇陛下及政府政権統一以来夙ニ各國交際貿
易ノ道彼此平均ニ至ルヲ期望シ其理勢変革改
正セサルヘカラサル事ヲ了知シ積世因襲ノ陋
規弊習ヲ洗滌シ大ニ両国ノ規模ヲ期希スル為
メ封建ノ治体ヲ変シテ郡縣トシ拘束セシ民権

ヲ復シテ簡易ニ帰セシメ百事更正スル処アリテ國民ノ景況之ヲ前日ニ比スレハ大ニ観ヲ改ムルニ至ルト雖ヒ其事ヲ設為施行スル未タ其歳月浅キニヨリ尚変革改正ノ頓次逐件ナスヘキモノアリ此ノ條件益々改正スルヲ得テ始テ我政府ノ目的ヲ達シ期望スル処ヲ遂ルト云ヘシ乃チ其條件左ノ如シ

第一我国律中民律貿易律刑法律等殊ニ西洋各国ノ法律ト大ニ殊ナルヲ以テ何ノ人民モ之ヲ遵守シテ妨礙ナカラシムヘキ目的ヲ定メ其異ナルヲ除キ其同キヲ採リ正理ニ適合シテ謬リ無ラシムヘキ支

第二各国人民互ニ相往来居住スル其国法ヲ遵奉スルニ於テハ固ヨリ自由ヲ得ヘキ支ナリ然ルニ地ヲ畫シテ其區ヲ分ツ彼此一致セサルニ似タリ故ニ往来住居ノ規則

ヲ確定シ自由ヲ得セシムヘキ方法ヲ設ク
ル事

第三国東西ヲ異ニシ民情亦隨テ均シカラ
スト雖モ其原性元ヨリ同一ニシテ異ル事ア
ルナシ故ニ教諭ノ道ヲ盛ニシ開化ノ帰旨
ヲ一致セシムル方法ノ事

第四彼此法教ノ存スル障害ハ之ヲ除キ異
論ナカラシム ルノ実徴ヲ保全シ相互ニ抵
觸ナカラシムヘキ事

右ノ條件変革改正スルニ於テ国内百般ノ事務
之ニ準シテ更ニセサルヘカラス而シテ或ハ施
為先後ノ順序アルモノアリ或ハ方法處置ノ趣
向ヲ案定シテ商議ニ附スヘキモノアリ而シテ
之ヲ実際ニ施行スル多少ノ時限ヲ費サヽルヲ
得サルモノアリ或ハ其法令ノ行レサルカ又ハ
之ヲ拒ムノ徒アルトキハ威力ヲ以テ之ヲ厳制シ

其事ヲ遂ケヘキモノアリ

此変革改正ヲ行フハ一大変件ナルニ由リ緊要ナル商議ヲ各邦ニサシ其考案論説ヲ請フハ必要ノ変ト考ヘタリ

各国政府ニ於テ我国政府ノ目的ト期望スル処トヲ賛成スル為メ要用ナル考案ヲ予ヘ且其論説ヲ聴シメ以テ此事ニ同意シ我国ヲソ開化ノ域ニ登進セシムル変ニ協力シ厚ク商議ヲナシ其処置ヲ十分施行シ得ヘカラシムヘシ

而シテ其處置ヲ十分施行シ得ヘカラシムルニハ其時限ヲ豫算シテ我政府ニ与ヘサルヘカラス此レ我政府大ニ後ニ期スル處アルニヨリ其事情ヲ陳述シテ條約改正ノ期ヲ延ル事ヲ請求ヲ敢テ各国政府ニナスモ亦不得已ノ所以ナリ

第三號

條約改定延期斷之為使節可被差立起原ノ條理
件ヽ御下問ノ書中固ヨリ異議無之早ヽ人員御
撰挙発程ノ準備被　仰出度存候但三年定限立
候儀ハ将来ノ景況ニ由リ萬一失見モ有之候ハヽ
指支候ニ付先使節一行帰国我政府熟議ヲ遂候
上右期限更ニ可申入方可然欤且学校兵学宗教
等ニ至ルマテ同時研究之趣相見候ヘモ右ハ條
約改定ノ急務ニ無之其中法律理財交際ノ三科

文ケ急務ニ有之候間使節一行中ヲテ研究可致
儀ト存候処ニ償金一條ハ猶取調更ニ相伺可申
候此段申上候以上

辛未九月十五日

山口外務少輔
寺島外務大輔
岩倉外務卿

正院
御中

追テ本文学校兵学宗教等ノ儀云〻ノ次第ハ
全ク職掌ニ而申入候ヘ共此儀ハ別段見込可
申上候尚又使節人員何分ニモ速ニ御取極有
之度存候也

第四篇

晨ニ皇威ヲ張リ萬国ト峙立ノ　聖旨有テ維新
以来外交畧面目ヲ改ムル如シト雖モ国権ノ進
歩変異スル所無キカ幸明申ノ年定約改正ノ機
ハ国権ノ振不振　聖旨ノ達ト不達トニ際シ実
ニ千歳ノ一大機ト云フヘシ今御下問ノ論理ヲ
恢議スルニ先ツ形勢ヲ審ニシテ建国ノ大経ニ
渉リ時機ニ投シテ進取ノ緩急有為ノ規模充備

スト云ヘシ間然スル処ナシ

第五篇

我邦東洋環海ノ地ニシテ富強ノ基礎ヲ立テ海外諸国ト比肩并馳セント欲セハ船鑑ノ設ケナカルヘカラス水軍ノ備ナカルヘカラサルハ固ヨリ言ヲ俟サルナリ而シテ之ヲ設ケ之ヲ備ル其方法ヲ精究シ其施為ヲ審考セント欲スル其規範法律ニ於テハ之ヲ其書ニ徴シ之ヲ其人ニ質シテ其要領大旨ヲ得ヘシト雖モ其実際実務ニ至テハ親見熟察スルニ非サレハ何ソ能ク其精

細微密ヲ盡スヲ得ンヤ依テ龍驤日新ノ二艦ヲ
発シ特ニ伎術秀拔ナルモノ及ヒ才俊ノ少年成
器ニ堪ユヘキモノヲ撰ミ彙組セシメ而シテ運
用測量器械等ノ諸科ニ至テハ或ハ歐人ノ其伎
ニ工ミナルモノヲ雇使シ以テ各国有名ノ諸港
津ニ至リ左ノ件々ヲ親見熟察シテ其方法ヲ考
究スルヲ要ス

港津海関砲台ノ制置

海軍学校

造船場

製鐵所

海軍局

水兵屯所

海軍編次ノ法

軍費支給ノ法

軍器庫

燈明台浮木瀬印ノ法

海軍會計ノ規則

航海諸律

郵船ノ法

凡ソ此等ノ件々各国異同アルヘシト雖モ参互研究シテ採用スヘキ考案ヲ立テ然シテ其伎術ニ至テハ才俊少年ヲ留メテ然ルヘキ国ノ学校ニ入レ習学セシムヘシ

此ノ親見熟察ヲ乞フハ各国海軍及其規模ヲ実地実務ニ徴シテ我国海軍ノ規模ヲ建立スル基礎タルノミナラス其航海ノ人員大ニ見聞ヲ廣メ更ニ知識ヲ増進スルハ勿論ニテ伎術モ亦進歩スル少トセス

今般水軍設備実地考覈ノ為メ龍驤日新二艦各
国津港ヘ被差向候条乗組人員ヲ始諸事取調ヘ
可伺出事

兵部省

第六號

佛公使ヘ御内見ノ節勅語

我邦政体一新シ外交ノ誼モ亦日ヲ逐テ親密ナ
リ依テ各国政府ヘ聘問ノ礼ヲ修メ交際ノ情誼
益敦カラシメン為メ特ニ重臣ヲ各国ヘ派出シ
其禮ヲ修メシメントス然ルニ各国ト取結タル
條約改定ノ期既ニ近キニ在リ我内地ノ改正大
ニ之ニ関係スルヲ以テ俄テ其事ヲ商議セシメ
ントス幸ニ汝ニ托シテ朕カ意ヲ大統領ニ傳ヘ

便臣等述ル処ノ意ヲシテ達セシメヨ

十月四日参朝

第七号

大隈参議殿　　岩倉外務卿

昨四日米国公使ヘ別紙ノ通相達置候間為御心得寫差進候委曲右ニテ御承知有之度候也

辛未十月五日

以手紙致啓上候然者過日御面晤ノ節御内話ニ

及置候通我
天皇陛下ニ於テ貴国ヲ始メ欧洲諸盟各国ニ聘
問之使節被差遣一新以来我政府懇親ノ真情道
説及ヒ現今将来交際ノ着眼無伏蔵談判为及度
折柄閣下御帰国ノ免許貴政府ヨリ有之候哉傳
聞致候候弥左様ニ候ハヽ我使節貴國都府到着
ノ砌閣下ニモ御在都ニテ我国近来ノ政体時勢
閣下御見聞之実況御申立ニモ相成候ハヽ我使
節談判ノ趣ノ證左トモ相成多少都合宜カルヘ
クト存候既ニ英国日耳曼公使モ帰国中ニ有之
佛国公使モ不日帰国可被致由何レモ使節差遣
候節ノ便宜可相成ト存候事ニ付貴国ニモ右同
様閣下御在都ノ時ヲ得候ハヽ無此上好機會ト
存候右御様子伺度如此御坐候以上

辛未十月四日　岩倉外務卿

デロングブ閣下

第八號

特命全權大使

右大臣　岩倉具視

特命全權副使

參議　木戸孝允

大藏卿　大久保利通

工部大輔　伊藤博文

外務少輔　山口尚方

一等書記官

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

外務大記　塩田篤信

外務少丞　田邊太一

福地源一郎

文部中教授　何　禮之

二等書記官

外務大記　柴田昌吉

兵部省崔　小松濟治

米田桂二郎

外務少記　渡邊洪基

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第九號

特命全權大使

皇上ニ代テ國事ヲ辨理決判スル權ヲ有ス

特命全權副使

大使ニ副ス

一等書記官　四等　五等

使事ヲ代理スル權ヲ有ス

文書法案通弁會計ノ事務ヲ分掌又
八兼任ス
二等書記官　六等　七等
一等書記官二亜ク
職掌前二同シ
三等書記官　八等　九等
職掌前二同シ
四等書記官　十等　十一等

前二同シ
附屬士官　本官ノ等級ニ任ス
○
○理事官　等級ハ本官ニ從ヒ之ヲ定メス
一科ノ事務ヲ擔當弁理スルノ權ヲ
有ス
書記官　等級前ニ同シ
理事官ニ代理シ及ヒ其事ヲ參判ス

儿權ヲ有ス

皇使一行ノ書記官ヨリ之ヲ兼帶シ

又ハ特ニ附從スル有ヘシ

附屬士官

會計ハ皇使ノ書記頭之ヲ總括シ各理事

官ハ各地ニ分在セルヲ以テ其書記マタ

ハ附屬ノ士官之ヲ任スヘシ

第十號

十月八日木戸參議ヘ渡ス

各國公使ヘ

以手紙啟上致シ候然者我

天皇陛下即位以来和親ノ各國ニ未タ聘問ノ禮

ヲ修メサルヲ以テ右大臣岩倉具視ヲ特命全權

大使トシ參議木戸孝允大藏卿大久保利通工部

大輔伊藤博文外務少輔山口尚方ヲ特命全權副

使トシ貴国及ヒ各國ニ派出シ聘問ノ禮ヲ修メ

益ス両国親好ノ情誼ヲ厚クセント欲ス然シテ
各国ト取結タル條約改定ノ期限近キニ在ルヲ
以テ右使臣派出ノ便ニヨリ併テ我政府ノ目的
期望スル旨ヲ貴国政府及各国政府ニ陳述シテ
其考案ヲ乞ントス抑我政府ノ目的期望スル主
旨ハ各国和親ノ交際ヲ敦篤ニシ永世保續セシ
メントスルニ在リ而シテ之ヲ保續セシメント
スル開化ノ各国ニ行ハルノ諸方法ヲ則リ内地
ノ改革ヲ益ノ同一致ニ帰セシメサル可ラス之
ヲ同一致ニ帰セントスル我政府ノ腹心ヲ披陳
シ貴国政府及各国政府ノ考案ヲ諮詢シ其方法
ヲ実地ニ試験習学セシメ適宜允當ナルヲ採テ
之ヲ我国ニ挙行スル基礎ヲ固ラントス故ニ我
大使帰国ノ後其実践目擊スル処ト貴国政府及
各国政府ノ考案スル処トヲ審考シ然ル後條約
改定ノ議ニ及ハントスサレハ其間費ス処ノ年

限ヲ延ルハ已ヲ得サルノ請求ニテ又之ヲ貴国政府及各国政府ニ要セサルヲ得ス此レ今般大使ヲ派出スル大旨ナリ閣下能ク此意ヲ允諾シ貴国政府ヘ通報シ懇切ノ周旋ヲ望ミ候尤大使一行人員回歴ノ順次并開帆日限等ハ追而可申進候



大日本国天皇敬テ威望隆盛友誼親密ナル
某国皇帝陛下ニ白ス朕天祐ヲ保有シ萬世一系
ナル皇祚ヲ践ミシ以来和親ノ各国ニ未タ聘問
ノ禮ヲ修メサルヲ以テ爰ニ朕カ信任貴重ノ大
臣右大臣正二位岩倉具視ヲ特命全権大使トシ
参議従三位木戸孝允大蔵卿従三位大久保利通
工部大輔従四位伊藤博文外務少輔従四位山口
尚方ヲ特命全権副使トシ之ヲ全権ヲ委任シ貴

国及各国ニ派出シ聘問ノ禮ヲ修メ益親好ノ情
誼ヲ厚クセント欲ス然シテ各国ト取結タル條
約改定ノ期限来申年五月即西暦千八百七十二
年第七月ニ在ルヲ以テ右使臣派出シ便ニ由リ
倣テ朕カ目的期望スル旨ヲ貴国及各国ニ陳述
セシム抑朕カ目的期望スル主旨ハ各国和親交
際ノ情誼ヲ敦篤ニシ之ヲ永世保續セシメント
スルニ在リ而シテ彼我政倍相異リ人民性情一ナ

ラサレハ何ソ能ク其目的期望ヲ達スルヲ得ン
ヤ苟モ之ヲ達センヲ欲ス文明ノ各国ニ行ル諸
方則ニ則リ同一致ナラシメサル可ラス之ヲ同
一致ナラシメント欲ス内地ノ諸制度列国公法
ト相矛盾スルモノハ之ヲ改正セサル可ラス然
レトモ久慣ノ習倍回襲ノ旧制一時ニ釐正周到ナ
ル能ハス諸制度未タ盈ク改正ニ至ラス隨テ各
国交際ノ事業未タ盛大ニ至ラス之ヲシテ盈ク

改正シ列国公法ニ照スト雖モ欽ルヨト無ク各
国交際貿易上ニ其実效ヲ示スニ至ラシメント
スル其方法亟ク実際ニ行ル文明各国ノ成法定
規ヲ標準トシ之ニ則ルヘシ故ニ朕カ腹心ヲ披
テ之ヲ貴国及各國ニ諮詢シ其考案ヲ乞ハシム
而シテ其考案ヲ実地ニ試験習学シ適宜允當ナ
ルヲ採テ之ヲ我国ニ挙行スル基礎ヲ図ラシメ
朕カ使臣帰国ノ後親ク其実践目擊スル旨ヲ聽

キ貴国及各国ニ在リテ其考案スル処ヲ参酌シ
然ル後條約改定ノ議ニ及ヒ前ニ述ル処ノ目的
期望ヲ達セントス故ニ其間費ス処ノ年限ヲ朕
カ国ニ與ヘン事ヲ貴国ニ望ム右ハ疾ニ商議ス
ヘキノ処国内多事遷延今ニ至ル亦已ヲ得サル
処ナリ此レ今般使臣ヲ派出スル旨趣ニテ此便
臣等ハ朕カ貴重信任スル所ナレハ陛下能ク其
言ヲ信聽シ之ヲ寵待栄遇セラレン夜ヲ望ミ且

切ニ陛下ノ康福貴国ノ安寧ヲ祈ル

第十二号

右大臣ノ譯ハ「ミニストルステイト」ニテ可然乎
或ハ「ワースプライムミニストル」相譯可申哉
参議ハ「メンフルスオフコンシイル」ニテ可然哉
特命全権大使ハ「アンハセトルエキツストロー
ジナレ」ニテ相當リ可申
同副使ハ「ワイスアンバセドル」ノ字義ニ當候処
欧洲各国ノ條例ニ因リ候時ハ副使ノ例無之尤
二等使節イヌボーイセキストロージナレーミ

ニストルフレニポタンシヤレー之例ハ有之候
処両条ノ譯字何レヲ採用候テ可然哉後例トモ
相成候事ニ付何レ尼御指揮ヲ仰キ申度此段至
急御評決被下度今午後二字前米国公使ハ書簡
差送可申ニ付即刻御指圖可被下候以上

右大臣岩倉其外

参議御中

第十三号

右大臣ノ譯ハ「ワイスプレジテンオフミニスト
ル」ト相譯シ可然歟
特命全権大使並参議ハ御申越ノ通ニテ可然
副使ハ「ワイスアンバセドル」ニテ可然歟
右御答ニ及ヒ候也

辛未十月十日　参議

右大臣殿其外

第十四号

# 出納書

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第十五号

特命全權大使

書記官等級左之通可心得事

一等書記官　官等四等

二等書記官　同　五等

三等書記官　同　六等

四等書記官　同　七等

五等書記官　同　八等

理事官及隨行官員ハ本官ノ等級タルヘキ事



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

辛未十月廿日

太政官

第十六号

十月廿二日

陸軍少將　山田顕義

侍従長　東久世通禧

司法大輔　佐々木高行

戸籍頭　田中光顕

文部大丞　田中不二麿

理事官トメ欧米各国ヘ被差遣候事

文部大助教　池田政懋

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

今般特命全権大使歐米各国ヘ被差遣候ニ付四等書記官トシテ隨行被　仰付候事

外務大録　安藤忠経

文部助　五辻安仲

外務大記　野村　靖

神奈川縣参事　内海忠勝

今般特命全権大使歐米各国ヘ差遣サレ候ニ付隨行被　仰付候事

今般東久世侍従長歐米各国ヘ被差遣候ニ付隨行被　仰付候事

宮内大丞　村田経満

戸籍頭　田中光顕

特命全権大使會誓兼務被　仰付候事

租税権助　若山儀一

按査大属　杉山一成

租税権大属　冨田命保

今般田中戸籍頭為理事官歐米各国へ被差遣候
ニ付隨行被　仰付候事　　阿部潛

文部中教授　長與秉繼
正七位　中島永元

今般田中文部大丞理事官少歐米各国へ被差遣
候ニ付隨行被　仰付候事

文部中助教　近藤昌綱

同　今村和郎
内村良藏

右同文但被仰付ノ字ヲ申付ニ作ル

造船頭　肥田為良

理事官トメ歐米各国へ被差遣候事

鑛道中属　瓜生震

今般肥田造船頭理事官トメ歐米各国へ被差遣
候ニ付隨行申付候事

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

今般山田陸軍少将理事官トノ歐米各国ヘ被差
遣候ニ付隨行被　仰付候事

兵部大教授　原田一道

今般特命全権大使歐米各国ヘ被差遣候ニ付ニ
等書記官トノ隨行被　仰付候事

川路寛堂

今般特命全権大使歐米各国ヘ被差遣候ニ付三
等書記官トノ隨行被　仰付候事

司法少判事　平賀義質

司法少判事　岡内重俊

司法少判事　中野健明

長野文炳

今般佐々木司法大輔為理事官歐米各国ヘ被差
遣候ニ付隨行被　仰付候事

正四位　清水谷公考

魯国留学被　仰付候事

蔵省等出仕　沖　守固

今般田中戸籍頭為理事官欧米各国へ被差遣候

二付随行被　仰付候事

少議官　高崎豊麿

少議生　安川繁成

高崎少議官随行

魯国留学被　仰付候事

従四位　坊城俊章

従五位　松崎延九

万里小路秀九

外国勤学被　仰付候事

佛国留学申付候事

岩下長十郎

律学修業トシ佛国ヘ差遣候事　中江篤助

河内宗一

魯国留學申付候事　平田範静

工學質問トシ英国ヘ差遣候事　燈臺權大屬　藤倉見達

正五位　武者路実世

獨乙国留學被　仰付候事　從四位　前田利嗣

英国留學被　仰付候事　日下義雄

米国留學申付候事　從五位　香川廣安

從三位　高辻修長

從五位　鳥居忠文

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

右自費洋行之分

大使一行等理事官随行等會計出納取
扱振替紙之通被定ル条一回ニ為心得相達ス
可申ル也

辛未
十月

正院

特命全權大使
岩倉海外出張ニ付当家ニ産類ニ旨今大使ヨリ理
事官及随行之人員ニ七ヶ産ヲ与ヘ事

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

一使節官員ノ外各省出張ノ官員支度料ハ當御
手當等定則ノ通可給与事

一使節并各省出張ノ官員旅費ノ儀ハ其現地ニ
臨ミ出納掛官員ヨリ可支給事
但御用都合ニヨリ他方ヘ相別レ候欠又ハ滞在等ノ
向ハ旅費ニ係リ候入費凡積ヲ以受取追而勘定
書ヲ添遣拂可申立事

一使節并各省出張ノ官員ハ公事ニ属候ハヽ其趣

旨ヲ一ヽ申談シ出納掛ヨリ受取遣拂ノ上ハ登書等
相添同掛ヶ可申聞事

一 同上私事ニ屬シ候入費ハ一切自費ハ勿論ニ候ヘ共不得
止情故有之事実指支候向ハ其趣ヲ委曲申請シ一時
繰替拝借ノ儀モ可有之右出納掛ヨリ其時ヽ證書
ヲ大藏省ヘ相廻シ留守中被下候月給ヲ以差引
返納ノ事

一 同上縱ヒ公事ニ屬シ候費用タリトモ其時ヽ不申立時
日相立且證書等無之向ハ官費ニ不相立事
但不得止事情有之致遅延候分ハ其旨出納掛
ヘ申入精細點検出来候ハヽ別格ノ事

一 同上私事ニ係リ候費用ヲ公費ノ如ク申成シ受取
候向ハ其者ハ申ニ及ハス出納掛官員モ越度タルヘキ事

一 公私混淆イタシ候勘定向ハ委曲出納掛ヘ入検査
ヲ受ケ官私ノ分判明ニスヘシ若不適當ノ渡方等有之
時ハ出納掛官員ノ責タルヘキ事

十月廿日外史ヨリ達ス

今般歐米各国ヘ被差遣候行使員一行支度料別段手當月手當左之通被下候条一同ヘ可相達事

正院

特命全權大使

特命全權大使

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

支度料　九百両　一時限
別段手當　六百両　同断
月手當　五百弗　但従来より蕃いふる下船賃賄代
其外諸旅費規則通之事

支度料　五百四十両　一時限　同副使
別段手當　五百両　同断
月手當　四百弗　但前同断
一等書記官

支度料　三百七十五両　一時限
別段手當　百五十両　同断
月手當　二百五十弗　但前同断
二等書記官

支度料　二百五十両　一時限
別段手當　百　両　同断
月手當　二百弗　但前同断
三等書記官

支度料　二百五十両　一時限
別段手當　百　両　同　断
月手當　百七十弗　但前同断

支度料　百八十両　一時限
別段手當　七十両　同　断
月手當　百七十弗　但前同断

四等書記官

理事官及随行ノ者ハ本官等級ニ應シ旅費規則ニ照準シ可ニ上下事



十月廿四日外史ヨリ達ス

大蔵省

今般歐米各国ヘ被差遣候大使一行支度料別段手當月手當左之通被下候条其旨可心得事

辛未
十月廿四日

太政官

別紙前同文言

第廿号

一 今般欧米各国へ被差遣候使節供連ノ儀大使ハ二人副使ハ一人宛現実召連候分ハ下等ヲ以テ船賃并船中賄料旅籠料ハ下賜支度料日當御手當金ハ不下賜其餘書記理事官等ハ從者召連候儀不相成事

一 月給并旅費ノ儀ハ三ヶ月分當地ニテ取越相渡其餘ハ彼地ニテ渡シ方致シ候積ニ付右ノ外當地

ニテ立替金等渡シ方ノ儀ハ不相成候事

右之通相達候事

辛未十一月　　太政官

第廿一号

一　租税之事

一　出納之事

一　勧農之事

一　戸籍之事

一　民産調之事

一　會社之事

右者今般理事官トシテ歐米各国ヘ被差遣候ニ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

付本省ノ事務研究習学仕度目的ニ御坐候間此段申上候以上

辛未十月廿五日　　戸籍頭田中光顕

正院

御中

今般各国ニ理事官トシテ差遣サレ候ニ付テハ本省ノ事務研究習学致スヘキ件々目的相立申出ヘキ段奉畏候抑此度全権公使始諸理事官各国ヘ御遣シ相成候義素ヨリ深キ聖旨ノ在ル處ニシテ天地ノ公理ニ基キ萬国ノ公法ニ依リ速ニ各国ト平行對立シ諸務挙テ皆各国ノ如ク海軍英米ヲ蔑シ陸軍普佛ヲ凌キ実

ニ世界中匹似スル者ナカラント欲スルナラン
ト謹テ奉恐察候然則理事官ハ則省中萬務ノ
理事官ニ候哉又一ニ要件ノ理事官ニ候哉定テ
特命モ可有之ト奉存候ヘ共茫乎無涯ニテハ自
カラ其任ノ限ヲ知ルヲ得ス謹テ此旨ヲ伺ヒ候
伏惟今兵部省中陸軍事務ニ於テ一ツ切ナラサ
ル者ナシ就中参謀局軍務局給養局ノ事務最モ
切要ナリトス然レ共臣性魯鈍加ルニ歳月限リ
アリ一科ト雖モ焉ソ能ク学フヲ得ンヤ況ヤ此
三科ヲ学フヲヤ伏テ願クハ臣ニ賜フニ三科ノ
大概ヲ知スルヲ以テ期トシ普佛ノ間ニ在留
スルヲ得セシメハ臣不堪感喜ノ至ナリ自今後
内外相助ケ各省互救文武跛行憂ナク諸務並ヒ
進ミ益ヽ公憲ヲ固クシ十目指速ニ文明開化
ナラン事ヲ希望臣頓首再拝謹白

亥未十月廿八日　陸軍少将山田顕義

歐米各国ニ於テ研究習学可仕件〻左ニ奉申上候

一蒸氣諸機械製作之事

一諸製造所會計簿冊仕組方之事

若餘暇有之節

一水中建築之事

一家屋造営之事

一造船之事

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

右之通御坐候以上

辛未十月廿七日　造船頭兼製作頭肥田為良

正院

御中

一帝国帝権之差等

一親兵之体裁并歳費

一帝王公務之外歳費定額

一海陸軍巡視之体裁

一帝王貴族交際接見之式

一公使謁見之式

一内廷殊恩謁見之式

一帝王他国巡行鹵簿
一国内遊行之鹵簿
一太子諸王取扱之等差並入学之式
一皇后体裁並後宮妃嬪之員数
一帝王学課日用政務之措置
一師傅之接遇侍醫侍臣之撰挙
一帝居及後宮之模様
一帝王服飾並常膳之品
一大禮饗宴音樂等之式
一内廷書程吏員並課目給料
右之件〻取調可申相伺候也

辛未十月

宮内省

一帝国帝権之差等

一親兵之体裁

一海陸軍巡視之体裁

一帝王貴族交際接見之式

一皇華族非役扱振之事

一在官非役同一謁見等之節之式

一公使謁見之式 外

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

一内廷殊恩謁見之式
一帝王他国巡行之函簿
一国内巡行之函簿
一太子諸王取扱之差等并入学之式
一師傅之接遇侍醫侍臣之撰挙
一帝居及後宮之模様
一帝王服飾并常膳之品
一大禮遊宴音樂等之式
一年中之禮式
一有功之人免官後扱振之事
一大臣以下官等ニ應シ禮節之事
一路頭禮節之事
一祖先祭典等之式
一喪并服忌之事
右之條〻取調可申相伺候也

辛未十月

式部寮

世界奎運ノ旺ナル文化ノ洽キ列国規制各異同
アルヘシト雖モ教育ノ法ヲ設ケ人心固有ノ良
能ヲ發達シ知識ヲ増益スルニアルノミ苟モ闔
州ノ民ヲ驅テ訓誨率令駸〻歩ヲ進メ開明ノ域
ニ躋ラシメント欲スルモノ其規制ノ善美ヲ攻
竅シ精益精ヲ求メ之カ宜ヲ得サルヘケンヤ是
ヲ以テ米利堅孛漏生其余英吉利法朗西荷蘭魯
西亜等最モ善美ナルモノニ就キ目今行ハルヽ

景況何如ヲ顧ミ彼我良否相詎ルノ遠キ教育ノ素アルヲ察シ遍ク利獎ヲ洞悉シ他日実験ニ従事セシヲ要ス今其講究スヘキ目的ヲ掲ケ之ヲ左ニ開列ス

教育事務局諸規律之事

教育事務局官員職務之事

教育事務局官員給料之事

大學校之事

中學校之事

小學校之事

公學校之事

私學校之事

女學校之事

共立學校之事

學校科目之事

學校造建之事

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

學校所用器具之事
學校費用支取之事
學校監督之事
學校教官職務之事
學校教官給料之事
學校教官證憑之事
學校生徒年限之事
學校生徒等級之事
學校生徒試藝之事
學校生徒習業序次之事
學校生徒受業料之事
博物府之事
圖書庫之事
病院法則之事
貧院法則之事
唖院法則之事

大政官

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

盲院法則之事

癲院法則之事

痴児院法則之事

其余本省関渉之件ハ

要務ノ事項ハ目撃スル所ニ従ヒ瞭知ノタメ勉メテ簿冊ニ詳記シ後ノ考索ニ便スヘキ事

書籍器具須要ノモノヲ購得シ翻刻摸造ノ用ニ供スヘキ事

田中文部大丞

一萬国公法之中ニテ訟獄ニ拘ハル件〻疑惑之筋并現行取扱之手續等見聞

一各国法律之概畧并凡土人情ニ依テ各法之同シカラサル所等実境見聞

一州法邑法民法等右同断

一司法上局ヨリ下局マテノ権限分界等質問

一司法官員之職制選挙ノ方法等質問

一司法ニ属スル地方官譬ハマーシヤル役セリフ役ポリース役ヂユレ役等之職務制限見聞

一平人軍人訴訟干係之區分

一聽訟之規現行実検并聽訟ノ規則細々ノ処成ル丈ケ質問

一鞫獄之現行実検并鞫獄ノ規則方法等質問

一囚獄徒場懲役場等浩構規則見聞

一行刑之手續見聞

一代言師代書師公事師ナト唱ル者ノ職務境界

一捕ニ取締治安保護之方法等見聞

一立法行法部ニ干渉スル権限之内不明ノ廉々

問合

一律学校ノ浩構規則等

此外外国訟獄内国訟獄裁判内済願下ケ身代限リ死流徒贖罪等件々今般一時ニ手ニ及可申様モ無之ニ付手間取候分ハ別段取調之目

途相立畢竟之處御法全備仕ラセ候様此節実
地ヲ見切相運ハセ候様仕度奉存候

佐ゝ木司法大輔

當縣大参事内海忠勝儀今般特命全権大使随行
歐米各国へ被差遣候ニ付テハ開港場ノ事務研
究習学可致件ゝ目的相立可伺出旨御沙汰之趣
承知仕候右可取調大体之廉ハ港規則地所貸渡
并地券渡方之方法ポリス規則未済国人入籍ノ
方法内外人民訴訟裁判ノ定例及其手数料取立方
規則等ヲ大体之目的ニ相立為取調申度奉存候
此段御受旁申上候以上

辛未十一月二日　神奈川縣知事陸奥宗光

正院御中

外務省

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

# 遣使全書

第二

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第廿二号

大日本國天皇□□敬テ威望隆盛友誼親密ナル□□皇
帝陛下ニ白ス
予天佑ヲ保有シ萬世一系ナル皇祚ヲ踐ミシ以来未タ
和親ノ各國ニ聘問ノ禮ヲ修メサルヲ以テ茲ニ予カ信
任貴重ノ大臣右大臣正二位岩倉具視ヲ特命全權大使
トシ参議從三位木戸孝允大藏卿從三位大久保利通工
部大輔從四位伊藤博文外務少輔從四位山口尚芳ヲ特
命全權副使トシ共ニ全權ヲ委任シ貴國及ヒ各國ニ派
出シ聘問ノ禮ヲ修メ益親好ノ情誼ヲ厚クセント欲ス
且貴國ト結ヒタル條約ヲ改正スルノ期近ク来歳ニア

ルヲ以テ予カ期望預圖スル所ハ開明各國ニ比シク人民ヲシテ其公権ト公利トヲ保有セシメン為ニ從来ノ定約ヲ釐正セント欲スト雖モ我國ノ開化未タ決カラス政律モ亦從テ異ナレハ多少ノ時月ヲ費スニ非サレハ其期望スル所ヲ達スル能ハス故ニ勉メテ開明各國ニ行ハル、諸方法ヲ擇ヒ之ヲ我國ニ施スニ適宜妥当ナルヲ来リ漸次ニ政倍ヲ革メ同一致ナラシメンヿヲ欲ス抑此我國ノ事情ヲ貴國政府ニ詢リ其考案ヲ得テ以テ現今將来施設スヘキ方畧ヲ商量セシメ使臣帰朝ノ上條約改正ノ議ニ及ヒ予カ期望預圖スル所ヲ達セント欲ス此使臣ハ予カ貴重信任スル所ナレハ陛下能ク其言ヲ信聴シ之ヲ寵待栄遇セラレン事ヲ望ミ且切ニ陛下ノ康福貴國ノ安寧ヲ禱ル

明治四年辛未十一月　日　東京宮城ニ於テ親カラ名ヲ記シ璽ヲ鈐ス

第廿三号

勅旨

特命全権大使

一使命ノ大旨國書ヲ體シ列國條約及税則ヲ審考シ國ノ權理ト利益トヲ失ハサル事ニ注意シ談判ノ條理處事ノ例規草ニ公法ニ照準シ内勅及條約改正ニヨリ目的ノ件々実際履行スヘキ順序ノ別勅旨ヲ奉シ便宜從事スヘシ

一馬關償金ノ事ハ便宜談判ヲ遂クヘシ若シ外國人民利益トナルヘキ事ト交換ノ談判ニ渉ルヿアリト雖無税又ハ減税等ノ談判ハ受クヘカラス

但自後開港ノ談判ニ及フ時ハ越前敦賀志摩鳥羽三陸中ニテ一ヶ所北海道ニテ一ヶ所ノ内一港ヲ開ク談判約束ヲナシ得ヘシ

一新潟港ヲ閉チ別ニ一港ヲ開ク譚判ニ及フ時ハ前ニ載ル港ノ内ヲ以テ之ニ換ルノ談判約束ヲナスヘシ

一各國ニ於テ要用ノ人物ヲ選テ之ヲ傭ヒ及器具ヲ購スル事ヲ專決シ理事官ヨリ此事ヲ申請スル時ハ之ヲ可否判断スヘシ

一條約アル國々ノ内未タ辨務使ヲ派出セサル國ニ辨務使ヲ置クヿヲ約束スルヲ得ヘシ而シテ一國ニ一

員ヲ置キ或ハ兩國ヲ兼任セシムルハ便宜考定シテ
其狀ヲ具シ報告スヘシ
一各理事官ヲ各國ニ分遣シ搭當ノ科目ヲ研究習学セ
シムルハ實地談判ノ便宜ニ從ヒ之ヲ定メ及其行事
ノ順序期限等之ヲ指揮スヘシ
一隨行ノ官員其材ヲ量テ之ニ科目ヲ分チ各國ニ留メ
テ研究習学セシメ及各國ニ官費ヲ以テ留学スル生
徒ノ分科修業ヲ檢査案定シ失行無狀ノモノハ歸國
ヲ申渡スヘシ
但留学生徒ノ費用ヲ裁省シ其方ヲ檢定スヘシ

一諸官員ノ行狀ニ注意シ訴訟アルトキハ之ヲ裁斷シ非
違ヲ犯スヿアルカ或ハ奉職無狀ナルヿアラハ其狀
ヲ具シ歸國ヲ申渡スヘシ
一各國往復ノ公書談判ノ顛末其時〻要旨ヲ書録シ速
ニ之ヲ報告スヘシ
一凡テ談判ノ旨趣副使一同豫議シ獨自ノ專斷アルヘ
カラス
右勅旨件〻宜ク遵奉シテ違ルヿ勿ルヘシ
奉勅　太政大臣三條□□

別勅旨

條約改正ニ付目的トシタル件ニヲ実際ニ履行ス
ヘキ順序

一三府五港ニハ各國ノ人民ノ来住ヲ許シタルニ付以
来外國人居留地ノ区別ヲ廃シ彼我人民自由ニ雑居
スル事ヲ許スヘシ

一右ノ外國人等ハ都テ日本政府ノ法律ノ下ニ立テ其
地方官廳ノ規則ヲ遵奉スヘシ故ニ其地ニ居住セン
ト欲スル者ハ三府五港ノ官廳ニ来リテ何区何街ニ
住シ何産業ヲ営マントト欲スル事并ニ生國姓名等ヲ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

願書ニ認メテ中立ヘシ是ハ記錄局ノ所務タル港府ノ官廳ニ各〻記錄局ヲ取設ケ外國人ヲ使用スヘシ

一三府五港ノ外ハ外國人ヲ居住セシメスト雖モ其公國中ヲ自由ニ旅行スルハ其通權中ニアルヘシ故ニ旅行ヲ願フ者ハ港府ノ官廳ニ來リテ旅行免狀即チ往來切手ヲ乞フヘシ此往來切手ニハ其地ノ知事之ニ名記スヘシ

一日本政府ノ職務ニ使用セラル、外國人ハ即チ日本政府ノ官員ナレハ右ノ制限ニ拘ラサルヘシ且墳山耕作等ノ産業ニ付府港外ニ居住スルヿハ其官廳ノ特許ヲ得サルヘカラス

一日本地内ニ居住スル外國人ハ日本政府ノ法律制度ニ服從スルヲ以テ内外人民ノ別ヲ論セス其訴訟ヲ裁判シ其罪狀ヲ審案スヘキ裁判所ヲ設クヘシ此裁判所ノ長官ハ日本人タルヘシト雖モ其法律ヲ案議考定スルノ法官ハ各國ノ法律ニ通曉ナル外國人ヲ使用シ日本官員ト共ニ諸官ノ列ニ加ハラシムヘシ

一東京ニハ大裁判所ヲ設ケ各地ニテ審定シ難キ所ノ訴訟獄案ヲ持出シテ之ヲ裁判セシムヘシ此大裁判所ノ法官モ前同樣外國人ヲ使用シテ其列ニ加ハラ

シムヘシ

一右ノ裁判所ヲ建ルノ以上ハ外國公使岡士等ハ一切日本ノ民法刑法ヲ論議スルヿヲ得ス又其國民タリ旧日本地内ニ居住スル者ノ訴訟獄案ヲ決スル事ヲ得サルヘシ

一右ノ裁判所ニ於テ遵奉スル處ノ民法刑法ハ預メ議法官ヲ設ケテ之ヲ議定セシムヘシ此議法官ハ外國人ト日本人ト中ヨリ撰ヒ出シ假令ハ某國ノ法ヲ標本トシテ之ヲ斟酌シテ決定セシムヘシ目今ノ制度察ヲ擴充スルノ理ナリ而シテ其議法官員ヨリ進呈シタル法律案ハ三院ニテ議定シテ初メテ法トナシ之ヲ公布シテ裁判處ノ法律トナサシムヘシ

右別勅旨ノ件〻宜ク遵奉シテ懲ルヿ勿ルヘシ

奉勅

太政大臣三條実美

大使職任ノ心得

特命全権大使ハ我
皇上ニ代ラ外國ニ派出シ國事ヲ辨理シ且之ヲ決判スル権ヲ有スルハ普通ノ公例タルニ由リ外國ニ於テモ之ヲ其君主親臨スルト同様ニ認ノ各政府貴重ノ待遇ヲ受ケ各人民ニモ尊敬ノ款接ヲ得ルナリ此レ其人ニ存スルニ非ス其職任ニ存スル事ニテ全國ノ事皆此ノ一ノ職任ニ萃ル故ニ自國ノ正理ヲ達シ自國ノ利益ヲ享ケ自國ノ名誉ヲ廣ムル事モ自國ノ枉曲ニ陥リ自國ノ禍害ヲ招キ自國ノ恥辱ヲ受ル事モ盡ク其引受トナ

ルハ勿論ナリ是以テ危言隻辞ノ差錯一動一止ノ疎忽モ全國ノ大事ニ關係スルニ由リ多言ヲ慎ミ輕躁ヲ警ルハ抵機ノ裏真ニ栄辱ノ主ナルヲ慮レハナリ

機智ヲ條理ノ上ニ托シ狡獪ヲ懇親ノ間ニ弄ス列國ノ交際繫文密節ナル所以ニノ辨理公使ノ措事續重用意周密ナルヲ要スル所ナリ一顰一笑モ其由来スル原因ヲ推覈シ機ヲ見ル敏捷ニシテ事ヲ察スル明晰ナラサレハ表裏抑揚ノ相反スルモノ有テ其殼中ニ知スシテ陷ルアリ此レ最モ注意スヘキ事タリ故ニ列國辨理公使ノ始テ職任ヲ受ルヤ其職権ヲ審ニシ沿出スル國ノ情態ハ勿論其外國事務執政ノ才能志行気質マテモ考察シ談判ヲ遂ケ自國君主及自國ノ利益ヲ取失ハサル事ニ始終注意シ其方便ヲ思索スルヲ肝要トセリ

如此職任ノ重大ナルヨリ大使ノ行住坐卧トモ各國人民ノ觸目スル処ニテ瑣末ノ事モ新聞ニ傳播シ毀誉得失廣論衆評セラル、標的トナリ又其國柄ノ何如ヲ推考スル表證トモナルヲナリ

右之件々ハ大使職任ノ大畧為心得相達候事

勅旨

## 各理事官

一各國ノ内文明最盛ナル國ニ於テ本省緊要ノ事務目今実地ニ行ル、景況ヲ親察シ其方法ヲ研究講習シ内地ニ施行スヘキ目的ヲ立ツヘシ

一研究講習スル事務ノ科目ヲ分チ及其國ヲ定メ便宜行事ノ循序期限等ハ特命全権大使ノ指揮ニ従フヘシ

一隨行ノ官員ニ事務ノ科目ヲ分ツハ特命全権大使ノ指揮ニ由ルト雖モ其分任ノ事務ヲ督シ之ヲ整理ス

ルノ責ニ任スヘシ

一本省要用ノ為メ外國人ヲ雇ヒ書籍器具等ヲ購スル事アラハ特命全権大使ノ決判ニ從フヘシ

一臨機ノ事ハ凡テ特命全権大使ノ指揮ヲ受ケ所置スヘシ

一當務ノ顛末研究習学ノ功程等時々書録シテ報告スヘシ

右勅旨件々宜ク遵奉シテ違ル事勿ルヘシ

奉勅　太政大臣三條□□

第廿四号

今般欧米各國ヘ被差遣候使節一行書記官御手当ノ儀此程御改定御達相成候処二三等四五等ハ同等ノ被下方相成居候処元来等級被定候上ハ支度料ハ格別月御手当別段御手當等ハ等級ニ応シ差等相立相当可仕且向来使節被差遣候節モ右ニ準據致シ下賜可然被存候間更ニ別紙ノ通御改更相成候様致度尤右ノ趣ハ當省ヨリ直ニ外務省ヘモ相達別紙割合ヲ以渡方取計候積ニ御坐候此段申上置候也

辛未十一月三日　大蔵少輔吉田清成

正院御中

大藏少輔井上馨
大藏卿大久保利通

一等書記官

支度料　三百七十五両　一時限
別段御手當　百五十両　同断
月御手當　二百五十弗
但從前ノ日當ハ不被下船賃賄代其外ハ都テ旅費規則通リ候事

二等書記官

支度料　二百五十両　一時限
別段御手當　百両　同断
月御手當　二百弗

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

但前同断

三等書記官

支度料　二百五十両　一時限

別段御手當　八十両　同断

月御手當　百八十弗

但前同断

四等書記官

支度料　百八十両　一時限

別段御手當　七十両　同断

月御手當　百五十弗

但前同断

五等書記官

支度料　百八十両　同断

別段御手當　五十両　同断

月御手當　百三十弗

但前同断

右之通書記官御手當更ニ被定候事

本之趣大使並ニ大蔵省ハモ相達候事

第廿五号

十一月三日

第六号　米國公使

佛國公使歸國ノ節ト同勅語

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第廿六号

裁

一留学生取締方ニ付大蔵省伺

一欧米各地方留学生学費引受人ノ儀ニ付同省伺

一鉄道工学勧工製鉄寮ヘ外國人御雇入之儀工部省

申立

一書籍器械等買入方之儀司法省伺

一教師御雇入之儀同省伺

一輸入品鑒定者御雇入之儀大蔵省伺

一佛蘭西法律書類買入代金之儀司法省伺

右ハ実地ニ於テ便宜可致處置儀ニ候間為心得右書
類相達置候事

留学生取締之儀ニ付伺

別紙欧米留学生取締ノ方法甚得其要候様存候ニ付御
採用全権大使ヘ其所置御任セ相成候方ト存候然ルニ畢
竟生徒ヲ出スノ時ニ方リ能ク其人ヲ精撰シ約スルニ
一課ノ学ヲ以テシ責ルニ其課ノ成ヲ以テシ始ヲ慎ム
ニアラサレハ此方法ノ終ヲ実ニスル事モ難カルヘシ
殊ニ注意致度儀ハ将来生徒詮撰ノ法工藝技術ノ者ニ
シテ高尚文事ノ人ニ無之固ヨリ治國修身ノ経律法理
論之学要ハ最モ要ニシテ不可不講ノモノト雖モ急ニ
セサルモ別ニ無害其地ニ遊テ学ハサルモ其書ニ就テ

之ヲ求メハ粗其大概ヲ渉猟シテ其綱領ニ逆シ凉ヘシ
技藝ノ事ヲ学フニ於テハ実境ニ臨ミ実事ヲ執リ鍛錬
習熟スルニ有ラサレハ必ス良工ヲ成スヘカラス決シ
テ精技ヲ極メ難シ古来吾國文学ヲ重ンシ技藝ヲ卑シ
ミ候ヨリ工職陋劣百課不挙未タ一奇機ヲ造リ出サス
未タ一工場ヲ築キ成サス終ニ今日ノ貧迫ヲ致ス方今
開明ト称スル欧米ノ國学問淵博知識高尚律法經理可
見ニ至ルモ百工奇巧製作繁昌國家殷富ヲ致シテ後之
ヲ成セシニ可有之然ハ則工藝技術ノ吾國ニヲケルハ
要ニシテ又急ト可申故ニ自是生徒ヲ出スハ專ラ是ヲ
先ニシテ詮撰致度事ニ候
○若詮撰ノ法立ツト雖モ約束ノ法嚴ナラサル時ハ名ハ
工トナシ藝ト為スモ其実コヽニアラサレハ境ヲ出ル
即チ其説ヲ放チ恣ニ其課ヲ轉ス現在欧米生徒ノ内其
弊尠ナカラス故ニ留学ヲ命スル時○何学何課修業ノ
為ノ何地留学申付候條自是何年ノ間実際研究実事習
熟ノ功ヲ遂ケ何学何課ハ用ニ適シ候様可致事○主課
ノ学ヲ勉メスシテ肆ニ他課ニ轉学致シ候者ハ勤怠成
不成ニ不拘帰朝ノ命令可有之事○彼地生徒監督没ハ
連月考課状ノ事実ヲ撿シ劣レル者ハ放テ帰スノ権ア

ルモノ也故ニ其命有之時ハ速ニ歸朝可致事○波地到着ノ上此書ハ監督役ヘ可預置事

○右等ノ條令ヲ掲タル書付ヲ渡シ名実始終通徹致シ候様約束ノ法嚴肅ニ相立度事ニ候

○右條令ノ如ク約束ノ法相立候共是迄ノ通リ各縣自在ニ生徒ヲ出シ学費ノ送リ方区々ニテハ其法モ亦雖被行故ニ公費ヲ以留学スル者ハ總テ費金ヲ大藏省ニ管轄シ是ヲ一箇ニ波國ニ於ケル学費金引受人ヘ渡シ置キ其金権ヲ生徒監督役ニ與ヘ候様致シ度事ニ候

○右ノ議可然ト被思食候ハヽ大使ヘ御命シ既ニ彼地ニ罷在候生徒ヘモ右條令ノ書ヲ為渡且学費金ノ儀ハ別紙之趣ヲ以テ御布告相成候様致度存候依之相伺候也

但生徒人撰ノ法并約束法辞令ノ箇條等ハ御一定之上其主任ヘ御命有之度候也

辛未十一月

吉田大藏少輔

井上大藏大輔

正院御中

御布告之趣意

是迄欧米両國之内へ公費ヲ以留学申付置候者へ学費金差送方総テ大蔵省於テ取扱候筈ニ付其年正月ヨリ之分ハ前年五月中七月ヨリ之分ハ十一月中ト七ヶ月以前ニ同省へ可差出事

一以来差出候分モ右同断之割合ヲ以総テ七ヶ月以前ニ同省へ可差出事

一以来生徒差出シ候節ハ其路費金ノ三本人へ相違シ学費金ハ総テ同省へ可相渡事

## 海外ニアル留學生徒ノ為ニ修行ノ方法ヲ設クルノ議

方今海外各國ニ留学スルノ生徒数百人ニ至ル其費ス所ノ費額モ亦尠カラス将来我國ノ開明ヲ進ムルノ基軸タルヘキヲ以テ其費額ヲ供スルナレハ留学生徒モ亦各学フヘキ所ヲ學ヒ習フヘキ所ヲ習ヒ此費額ト時月トノ費ヲ償ハサル可ラス而シテ留学生徒修業ノ実際ヲ探ルニ大ニ期望スル所ニ異ナルカ如シ普通ノ學科ヲ習ヒセスシテ高科ニ渉ル者アリ私ニ教師ヲ求メテ校塾ニ寄ラサルアリ或ハ年々數回其師ヲ換ヘ塾ヲ

轉スル者アリ到底開明ノ実状ヲ目撃スルヨリ愈々其志ヲ大ニシ其見ヲ高クスルヲ以テ自カラ良ナリトシ一業一科ヲ専習スルヿヲ屑トセス之レ留学生徒等ノ目今ノ弊習ニシテ此弊アル者大抵十ニ七八ナルヘシ此弊ノ由ラ来ル所ヲ案スルニ生徒ヲ監督スルノ責ヲ任スルノ人ナク又之ヲ厳約スルノ人ナキニ出ヅ生徒ノ費額ニ至リテモ多キニ過タルアリ少キニ過タルアリ各地ノ景況ト生徒ノ勤怠ニ應シテ異同アルヘキ事固ヨリ當然ナルヘシト思ハル今之ヲ監督厳約スルノ方法ヲ設ケスンハ将来生徒ノ成器ヲ得ルノ際大ニ損益アラン既ニ欧米ニアル辨務使ハ此任ヲ擔当スト雖モ交際事務ヲ司トルヲ以テ之ヲ専務トスルヲ得サルナラン狀章ニ今般特命全権大使各國巡行ノ機會ヲ以テ右ノ監督厳約ノ方法ヲ設ケン事ヲ祈望ス故ニ立案スル所ヲ左ニ陳述ス

特命全権大使某國ノ首府ニ到着ノ上其府ノ大学士ヲ招キテ相謀リ全國中ニ於テ有名ナル学士ノ徳望アル人々ヲ撰ミ各ヒ大使ヨリ書送シテ之ヲ招待シ集會ヲナシ日本ヨリ留学ノ生徒監督ノ事ヲ擔当センヿヲ依頼スヘシ

諸学士等ハ皆此撰挙ニ應シ自己ノ栄誉タルヲ以テ之ヲ承允スルヿ必定ナリ於此生徒習業ノ順序監督ノ方法ヲ相議シ此撰挙ニ応シタル學士等ヲ日本生徒監督役ト名ク尤モ雑務使并ニバンク（留学生徒ノ学費トシテ日本ヨリ送リタル金ヲ任レテ引受ク之ヲ預ルヘシ）モ亦此監督役ニ加ハルヘシ

監督役連名ニテ各地ノ小学校私塾等ニ至ル迄皆其教官ニ書送シ日本生徒ハ此監督役ノ定メタル順序ヲ目的トシテ教授シ毎月勤怠ト進業ノ功課状ヲ其校塾ノ教官ヨリ監督役ニ出サシムヘシ

始メテ某國ニ到着ノ留学生ハ雑務使ニ申出監督役ノ検査ヲ経其習学セシト欲スル所ノ目的ニ応シテ監督役ノ差図ニ従ヒ某地ノ校塾ヘノ紹介状ヲ監督役ヨリ落手シ之ヲ持参シテ其校塾ニ投スヘシ

生徒ノ学費ハ其寄宿シタル校塾教官ノ報告ニ従ヒ監督役ヨリ毎月之ヲ交付スルヿヲバンクニ達スヘシ

バンクハ日本ヨリ寄送ノ学費ヲ預リ其渡シ方ハ監督役ノ差図ニ従フヘシ

監督役ハ毎月校塾ノ功課状ヲ得テ日本生徒ノ勤怠ヲ知リ此功課状ニ検印ヲ加ヘテ之ヲ東京ノ大学校ニ送ルヘシ

若シ此考課狀ニヨリテ事實不勉強ノ生徒ニテ成器スヘキニ非スト監督役ニテ議定セハ速ニ其生徒ニ歸路ノ入費ヲ與ヘ之ヲ日本ニ歸スヘシ之ハ監督役ノ漾ヲ以テ取計フノ権トスヘシ

学費ノ増減或ハ増額ヲ勉強ノ生徒ニ與フル等ノ議ハ監督役ニテ決定スヘシ

右ノ方法ニ依リテ生徒ヲ約束セハ其成器ヲ得ル期ヲ速ニスル而已ナラス無益ノ費額ヲ減シ懶惰ノ生徒ヲ逐ヒ各習学スヘキヲ習学スルヿヲ得ン

政府ニテ此議ヲ善良ナリト許可シ賜ハヽ速ニ之ヲ実施スル事ヲ特命全権大使ニ任シ賜ハン事ヲ祈望ス

歐米各地ヘ留学生学費引受人之儀ニ付伺

是迄歐米留学生ヘ学費差送リ方不都合之次第モ有之趣依テ以来ハサンフランシスコヘニューヨルク、ロンドン、パリス、ベルリン於テ右学費金引受人相命シ左之通取扱候様致シ度依之相伺申候

一各地在留生ヘ可送金額ハ夫〻横濱表ニテ為替ニ致シ各地ノ引受人ヘ可送積依テ各地ノ引受人ヨリ各個一年ノ定額ヲ月ニ割合萬一為替受取方遅延之節其定額丈ハ操替相渡候様取極可申事

一右引受人ヘ手數料トシテ其取扱候金額ノ百分一宛

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

別段政府ヨリ被下留学生ノ学金ヨリ不引去様取極
可申事
一為替到着遅延之節操替金致候節ハ相當ノ利息是亦
別段政府ヨリ御拂可相成旨取極可申事
一右引受人ヨリ毎月會計書大蔵省ヘ為差出候様可
致事
辛未十一月　吉田大蔵少輔
井上大蔵大輔
大久保大蔵卿
正院御中

工部省鉄道工学勧工製鐵寮等ニテ可相用機関学家其外
欧洲ニ於テ雇入申度尤給料諸入費トモ概算勘定書差
出置候定格中ニテ相賄候心得ニ付無テ得御許可申置
度此段相伺候事
十一月七日　伊藤工部大輔
正院御中

今般当省官員洋行致候儀ニ付伺書

司法関係之事務ハ公法國法郡邑民物之法ヨリ訴訟刑獄大小司法官之権限等ニ至迚件々夥敷儀ニ付今般欧米滞留中隨行之同僚共ハ申ニ不及其他其本國ノ人員并本邦ヨリ其國々ヘ致留学居候書生ノ内ハモ加勢申談多人數手ヲ分ツテ取調不申テハ間ニ合申間鋪且右条々ニ干渉スル司法急用ノ書籍図画ノ類并刑獄等ニ必用之器械類ハ見合セ買入不申テハ難叶奉存候就テハ右助勢依頼候内外ノ人員ヘ挨拶仕向ケ并書籍类取入レノ代料等其時々於彼邦大蔵省ヘ可申立ニ付同省

ヘ御達置有之度此段相伺候也

辛未十月廿九日　　司法省

正院御中

教師御雇入之儀ニ付伺書

各國政体ニ基キ諸法律調方取掛リ候ニ付テハ先以那勃列翁コーテヲ本ニ致シ傍ラ英米等ノ諸法律ト打合セ斟酌可致ハ勿論ニ候乍併先ツ其目的トスル所不分明候テハ却テ其為メ紛紜ノ弊害ヲ生シ候條幸ヒ今度当省ヨリ大輔始メ洋行被仰付候其者共ヘモ皆其心得ヲ以テ教師ノ儀モ民法刑法訴訟法等ニ委敷人両三人佛國ヨリ相雇入度候條此段先以奉伺也

辛未十月廿五日　　司法省

正院御中

輸入品監定者御雇入之儀ニ付伺

運上所輸入品監定者之巧劣ニ依リ大ニ収税ノ多寡ニ相關候間横濱神戸両港ヘ一人宛ノ積ヲ以米國運上所ニ於テ其筋熟練ノ者相撰御雇入相成候様致シ度御許可相成候ハヽ今般遣歐米御使節ノ内ヘ右人撰方并給料等ノ定方トモ諸事可相嘱ト存候依之相伺候也

辛未十一月

吉田大藏少輔

井上大藏大輔

正院御中

十一月七日

伺之趣特命全權大使ヘ其理事官ヨリ申立ル

實地可受指揮事

佛蘭西法律書類買入代金御渡ノ儀ニ付伺

書

佛蘭西法律書別紙洋書名之通此節洋行之序買入申度候間右代金凡見込千両御渡有之候樣至急大藏省ヘ御達相成度此段相伺候也

辛未十一月五日　司法省

正院御中

十一月七日

特命全權大使ヘ申立可受指揮事

第七号

特命全權大使

今般各國順歷之序左之件々取計可申事

銅錢鑄造器械買入之儀

紙幣製造訛方之儀

辛未十一月　太政官

但為心得大藏省伺書相達候事

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

銅錢鑄造器械御買入之儀ニ付伺

銅錢鑄造之儀別紙概算比較之通リ得失了然之次第ニ付決然器械御買上且其筋熟練之者御雇入及彼地留學生之内ヨリ三五名右器械製造中ヨリ其業ニ親炙從事為致成工之後是ト一同帰朝致シ建築并製造之事ニ擔當為致候樣致シ度此儀制可相成候ハヽ右器械買入方其他共今般遣歐米御使節之向エ都テ便宜之權ヲ以テ取計候樣可相囑ト存候依之相伺申候也

辛未十一月

吉田大藏少輔

正院御中　　井上大藏大輔

伺之通特命全權大使ヘ相達候事

銅錢鑄造之見込

一五百萬圓ハ　壹錢

一三百五拾萬圓ハ　半錢

一百五拾萬圓ハ　壹厘錢

合計　壹千萬圓

右ハ鑄造適宜之數ニ可有之今此鑄造之方法勘考候處現今大阪造幣寮ニ於テハ金銀両貨之鑄造スラ急需ニ相充候儀甚難キ場合ニ付速ニ銅貨ヲ鑄造シテ從前醜惡之小錢ト引換國貨之品位ヲ齊整致候儀ハ所詮所分之手段無之依テ英米

西國之内ニ於テ鑄造致シ候方可然哉ヲ存候得共尚能ク是ヲ熟考致シ候得ハ鑄造器械御買入別ニ銅貨之工場ヲ興シ製造相成候方更ニ可然哉ト存候依テ其得失ヲ左ニ掲ケ此段相伺申候

壹千萬圓鑄造之時間

今壹秒時ニ付一箇宛之錢ヲ壓印スルトセハ一時間ニ三千六百箇一十時間之工ニシテ三萬六千箇之數ヲ得ヘシ故ニ壓印機械拾箇ヲ備ル工場ナレハ一日ニ付三拾六萬箇之數ヲ造リ一年三百六十日間工作之日ヲ三百トシ其製造數一億零八百萬箇ナリ右ニ掲テ銅錢之箇數二拾七億之総計ヲ此割合ニシテ造ル時ハ貳拾五年之業ナリトス若シ貳拾箇之壓印器械ヲ備ル製作場ナラハ拾二年半ノ業ニシテ若シ三拾箇之機械アルモ猶八年以上之時ヲ経過シ今若シ製造ヲ我ニ為サハ人ヲ倍シ時ヲ重子休暇之日無之是ヲ造リ時間ヲ縮ル之得アルヘシ

工作之料

今貳拾五箇之壓印機械ヲ備ル製作所トセハ器械一箇ニ一人ツヽ外ニ銅ヲ鎔和シ銅板ヲ作リ或ハ

圓形ヲ作リ或ハ是ヲ運搬シ或ハ蒸氣機關ヲ司ル人或ハ工場ヲ管スル人或ハ書記役小遣等迄總テノ人員ヲ概算スルニ四五十人ヲ下ラサルヘシ其給料ヲ平均シテ一人一日金貳両ツヽト概計スレハ一日ニ付テ百両ツヽ壹年三百日之總計ハ即チ三萬両拾貳年半ニシテ全成スルト見ル時ハ工料ノ總數三拾七萬五千両也外ニ石炭油苧之代其他之小費ヲ合算シテ壹年壹萬五千両ヲ費ストシ拾八萬七千五百両又製作場及器械之損料ヲ一年三萬トスルトハ拾貳年半ノ總計トシテ三拾七萬五千両ニ及ヘシ故ニ九十三萬七千五百両之合計トナル今若シ是ヲ自國ニ算セハ工料一日一人金貳分ツヽ五拾人ニテ貳拾五両三百日ニ七千五百両拾二年半ノ合計ニテ九萬三千七百五拾両ノ數トナル又炭油其他ノ小費ニ於テモ凡三分一ノ數ヲ減シ十二萬五千両ニテ充足スヘシ勿論製作場并器械之損料ハ全ク是ヲ入算セサレハ總計貳拾壹萬五千両也

銅ノ價

壹千萬圓三等ニ分チ壹錢ノ箇數五億此重量九拾四萬八千七百五拾貫目半錢ノ箇數七億此重

量六拾六萬四千百貳拾五貫目一厘錢ハ十五億
箇ナリ此重量ハ即チ三拾六萬二千二百五十貫
目總量百九拾七萬五千百二十五貫目是ヲ百六
十目斤ニシテ一千二百三十四萬四千五百三十一
斤四ト一今百斤ノ精銅ヲ我ニテ買ヘハ金十六両
ノ價ナルヘシ是ヲ彼ニテ買ヲ時ハ百斤ニ付唯金二
分ツヽヲ増ストスルモ六萬千七百二十二両永四百
二十六文ノ差アリ外ニ英國ヨリ横濱迄ノ船運
賃一噸ニ付金四両ト積リ七萬五千九百六十六噸
六　賃三拾萬三千八百六拾六両永四百八十文

危難請合料元價二百〇三萬六千八百四十七両永六
百十五文ノ五分ヲ拂フトスルモ拾万〇二千八百四
十二両永三百八十文余ノ高トナル故ニ其経費ノ
多寡ヲ比較スルニ左ノ如シ（但シ笑ノ易カランヲ顯シテ錫ノ事ヲ畧セリ）

仮令ハ英國ニ於テ製造スレハ

一金三十七萬五千両　工作料
一金拾八萬七千五百両　炭油其他ノ雑費
一同三拾七萬五千両　製作場器械損料
一同六萬千七百二十二両永四百廿文　銅價ノ差
一同三拾万三千八百六十六両永四百八十文　船運賃

一同拾萬二千八百四拾二両永三百八十文　危難請合賃

合計

金百四拾萬五千九百三拾壹両永二百八拾文

自國ニ於テ製造スレハ

一金九萬三千七百五拾両　工作料

一同拾二萬五千両　炭油其他雑費

合計

金貳拾壹萬八千七百五拾両

差引

金百拾九萬千百八拾壹両永二百八拾文

右差引残高百十九萬餘ノ金アラハ器械買入ノ代是ヲ運送スルノ費工場建築器械据付ノ入費極テ是ヲ辨スルニ足ルヘシ器械ヲ有シ財ヲ出サス工場建築ノ工アリテ工人為メニ利益ヲ増シ工料散シテ商民ヲ利シ併テ人ノ耳目ヲ開キ製産繁冨ノ助ヲ為ス然ラハ則前ノ概算當ヲ得サルモ必ス國家ニ妨害無之トス得失一目瞭了ナラン歟

紙幣製造并鐵道建築家御雇入之儀ニ付伺

紙幣製造之事

各旧藩々ニテ製造發行ノ紙幣總テ政府ノ紙幣ヲ以御引換可相成ニ付テハ即今字國フラクフヲルトニ於テ製造ノ紙幣ト同一ノ仕様ヲ以テ先般上野敦介彼地ニ於テノ約条ニ基キ代價并成工ノ時限等尚實際便宜ノ方ヲ取リ左ノ合數ノ紙幣増製造ノ儀右彫刻師ビドンドルフ會社ヘ申付候様致シ度

一紙幣五千萬圓　製造ノ合計

内

貳百萬圓ハ　貳拾圓ノ紙幣
此紙幣數十萬枚

八百萬圓ハ　拾圓ノ紙幣
此紙幣數八十萬枚

千萬圓ハ　五圓ノ紙幣
此紙幣數貳百萬枚

千萬圓ハ　貳圓ノ紙幣
此紙幣數五百萬枚

千五百萬圓ハ　壹圓ノ紙幣
此紙幣數千五百萬枚

五百萬圓ハ　半圓ノ紙幣
此紙幣數千萬枚

紙幣合數
三千貳百九拾萬枚

## 鐵道建築工人御雇入之事

先般御布告之通リ東京ヨリ青森迄鐵道御設可相成之處同地迄ハ山川寡ク平坦多ク橋梁坑道之工之ヲ東海道ニ比スレハ甚容易ニ可有之殊ニ勉テ簡易ノ製作ヲ旨トシ經費ヲ省クヲ要ト致

シ候ニ付テハ英ノ鄭重ヨリ米ノ簡便ニ相依候方
可然儀ト存候就テハ米國鐵道建築工人之給料并
期限等是亦便宜約定ノ上御雇相成候様取計度
右之二件御許可有之候ハヽ今般遣歐米御使節ノ
向ヘ逐次示談之上製作并雇入共委任可致ト存
候依之相伺候也

辛未十一月　　吉田大藏少輔
　　井上大藏大輔

正院御中

書面紙幣製造詆方之儀ハ特命全權大使ヘ相達候事